

果樹カメムシ類情報第1号

令和3年4月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

果樹カメムシ類の飛来数は6月末まで平年並の予想

1 令和3年のチャバネアオカメムシ越冬成虫密度調査結果

果樹カメムシ類の主要種であるチャバネアオカメムシ（図1）の越冬成虫密度調査を県内15地点で行った結果、平均越冬成虫密度は0.3頭/m²（過去10年の平均値0.7頭/m²）で過去10年と比較し5番目で平年並、越冬成虫の確認地点割合は53.3%（過去10年の平均値47.3%）で、過去10年と比較し6番目で平年並の状況でした（表）。

2 令和3年の飛来数予測

過去10年の調査結果から、越冬成虫密度と、果樹カメムシ類の飛来数の目安となる予察灯における5～6月までの誘殺数は関連しており、越冬成虫密度が高い年は誘殺数も多く、越冬成虫密度が低い年は誘殺数も少なくなる傾向があります（図2）。

今冬のチャバネアオカメムシの越冬成虫密度は平年並であったため、果樹カメムシ類の果樹園への飛来数は6月末まで平年並と予測します。しかし、昨年秋期の豊橋市の予察灯においてチャバネアオカメムシおよびツヤアオカメムシが多く誘殺されており、越冬成虫密度が高まっている可能性があり、注意が必要です。ほ場での発生状況や5月から始まる果樹カメムシ類の予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数などを参考にして、防除を実施しましょう。

表 令和3年のチャバネアオカメムシ越冬成虫密度（頭/m²）

調査年	調査地点																全地点の平均	越冬確認の地点割合
	幸田町		新城市				豊橋市					豊川市						
	須美北山北	須美北山東	大海	市川	小畑	稲木	嵩山	石巻中山	石巻萩平	石巻平野	小野田	平尾	千両	足山田	金沢			
令和3年	0.7	0.3	0.7	1.0	0.0	0.3	1.0	0.0	0.3	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	53.3%
平年	0.7	0.3	2.4	1.1	2.3	0.3	0.4	0.0	0.4	0.8	0.3	0.2	0.4	0.8	0.6	0.7	47.3%	

平年：平成23年から令和2年までの過去10年の平均値。



図1 チャバネアオカメムシ成虫

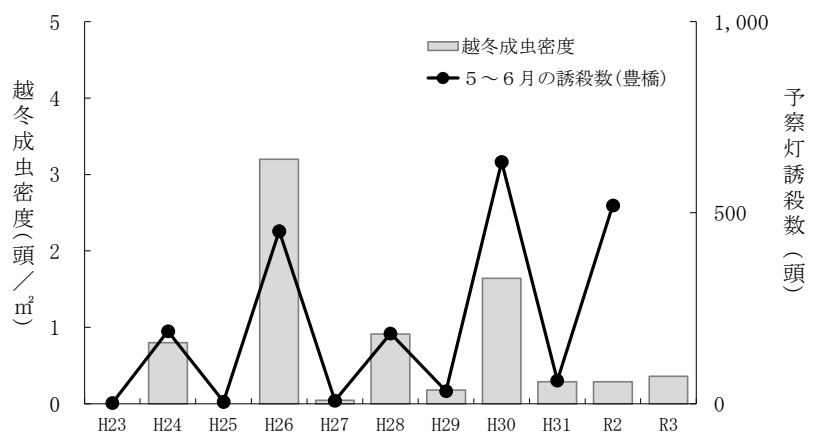


図2 チャバネアオカメムシの平均越冬成虫密度と予察灯における越冬成虫誘殺数（豊橋市）